

SPECIAL PRESENT

演奏者 佐藤茂勝 先生

演奏曲 幸福の硬貨 「マチネの終わりに」より

作曲者 菅野 祐悟 (かんの ゆうご)

2019年秋に公開の映画「マチネの終わりに」の作中曲。
福山雅治氏の演じるクラシックギタリストと石田ゆり子さん演じるジャーナリストの大人の愛の物語。

「マチネ」とは、フランス語で昼公演のこと。マチネの終わり頃とは昼下がりのこと、人生で言えば40歳前後の頃か。

6年間でたった3回しか会えなかつた人が、人生で誰よりも愛した存在になるまでを描くラブストーリーでありながら、人生の苦悩、世界との対立といったテーマを織り交ぜている。

第2回渡辺淳一文学賞受賞作品。



～ 本日は、ありがとうございました。～

第5回 ゆかいな仲間の

楽しい音楽会



時・令和2年7月31日（金）
所・スタジオエンザ

♪♪♪♪♪ プログラム ♪♪♪♪♪



1. 演奏曲名

「影を慕いて」

作曲者 古賀政男

演奏者 福崎 實

昭和7年に藤山一郎が歌い大ヒットし、その後、大衆に歌われ続けている昭和流行歌の傑作。ギターを弾くからには、是非持ち曲としておきたいと思い選びました。

【古賀政男は、昭和3年、悲恋などが原因で青根温泉で自殺を図っているが、その時に蔵王にかかった夕焼けを見て「影を慕いて」の一片の詩が浮かんだとしている。当時は作詞者と作曲者は領域がきちんと別れていて作詞作曲が同一人物というはありませんでした。昭和4年、明大マンドリン倶楽部の定期演奏会でギター合奏曲として発表し、当時の人気歌手佐藤千夜子に流行歌にすることを勧められ、昭和6年に彼女の歌唱でレコーディングするがあまり売れなかった。】

2. 演奏曲名

「落ち葉の精」「黄色の花」

作曲者 武井守茂

演奏者 山本周治

日本人の作曲による古い曲です。(昭2年と昭22年)
1957年にギターを習いはじめた頃の先生が手書きの楽譜で教えてくれた懐かしい曲です。再チャレンジしてみました。

【日本ギター黎明期に創られた佳曲で、寂しく、侘びしく、湿った、そして日本の感覚の溢れた曲である。】

武井は、1911年にイタリアに留学し、そこでギターとマンドリンに出会い、1915年に帰国しマンドリンオーケストラを主宰するとともに作曲家としても活躍する。1952年には、彼の業績を記念してギター作品を対象とする「武井賞」が創設された。】

3. 演奏曲名

「シューベルトのセレナーゼ」

作曲者 フランツ・シューベルト

演奏者 横山晶子

この美しい曲は、オーストリアのシューベルトによって書かれました。わずか31年の生涯で1000を超す作品を世に残し、幾年の時を経て今なお私達をこんなに満たしてくれます。

セレナーゼは「小夜曲」とも言い、夕暮れに思いを寄せる女性の部屋の窓下で歌われたものですが、思えば当時の日本は11代将軍徳川家斉の江戸時代でした。

今回この哀愁を帯びたメロディに挑戦したいと思います。

【この曲は、歌曲「白鳥の歌」の第4曲に当たるものであるが、「白鳥の歌」はシューベルトの死後に友人達によりまとめられたものであり、曲毎のつながりはなく彼自身の命名でもない。】

ヨーロッパの伝承では、白鳥は死ぬ前に最も美しい声で鳴くと言われていることから、「白鳥の歌」とは、つまり「瀕死の白鳥の歌」であり、人が亡くなる直前に人生で最高の作品を残すことを例えて指している。】

4. 演奏曲名 「CHOROS」(ショーロ)
作曲者 J.ペルナンブコ
演奏者 梅津きよ子

上手に弾けないことは解っているので、なるべく上がらないよう願っています。

【ブラジル人のジョアン・ペルナンブコは、ギターの詩人と呼ばれていて、ヴィラ・ロボスが「ペルナンブコは、ブラジル人がギターを弾くためのルールブックだ」と評している。】

【ブラジルのポピュラー音楽のスタイルの一つであるショーロのパイオニアの一人で、「鐘の音」は鐘の音を想起させる美しい曲で多くのギタリストによって弾かれている。】

5. 演奏曲名 「ノクターン」
作曲者 フレデリック・ショパン
演奏者 丸山 登

ショパンは、ポーランドの前期ロマン派音楽を代表する作曲家であり、ピアニストである。「ピアノの詩人」と呼ばれ、様々な形式、美しい旋律、半音階的和声法などによってピアノ音楽の新しい地平を切り開いた。

ショパンは21曲のノクターン(夜想曲)を作曲しているが、一般的にショパンのノクターンと言えば、この「第2番変ホ長調OP.9-2」を指すことが多い。

ノクターンとは、本来は修道院などで行われていた晩祷(ばんとう)という夜の祈りのことであった。

6. 演奏曲名 「メヌエット」
作曲者 J. S. バッハ
演奏者 草野文喜

前回と同じ曲ですが、曲を味わって演奏できたらと思います。

【一般には、バッハのメヌエットとして親しまれている曲であるが、近年の研究ではペツォールトの「鍵盤楽器のための小品」という作品であることが分かっている。今は、「ラバーズコンチェルト」と言う曲名でポピュラーソングにもなっている。】

7. 演奏曲名 「ドナウ川のさざなみ」
作曲者 I. イワノビッチ
演奏者 幸田吉史

【ルーマニアの作曲家ヨシフ・イワノビッチが1880年に作曲した2曲のワルツのうちの1曲。その哀愁を帯びた旋律、オーケストレーションの見事さから、突出したワルツ作品とされている。ヨハン・シュトラウスの「美しき青きドナウ」と対比されることが多いが、感傷的でロマンチックな曲で、日本人の心に訴えるものがあり、「月は霞む春の夜・・」という歌詞で歌われている。生涯350曲ほどを残しているが、今はほとんど忘れられている。】

【】の中は蛇足です。遊びました。大目にみてください。